



特集

愛知県では 交通死亡事故が多発しています

5月10日現在、愛知県では51名の方が交通事故で亡くなっています。

愛知県の昨年の都道府県別事故死者数は全国でワースト7位という順位です。多くの人々の努力にもかかわらず、交通ルールの違反やマナーの低下などを原因とする悲惨な交通事故は後を絶ちません。また、歩行者や自転車との事故が多いため、道路を渡るときは必ず横断歩道を渡り、信号をきちんと守り、青になっても左右の安全を確認してから渡りましょう。

都道府県別 事故死者数(年間)

1位	愛知	51人
2位	大阪	45人
3位	千葉	44人
4位	東京	41人
5位	埼玉	40人

(令和4年5月10日現在)

自転車乗車用ヘルメット購入費 補助金制度をご活用ください

本村では、転倒や交通事故の際に頭部を保護する自転車乗車用ヘルメットの着用を促進するため、自転車乗車用ヘルメットを購入する場合に、その費用の一部を助成しています。詳しくは、村公式ホームページをご覧ください。開発部建設課までお問合せください。

●補助対象者

村内に住所を有する7歳から18歳までの方および65歳以上の方(補助申請年度末に当該年齢に到達する方を含む)

●提出書類

- ・補助金交付申請書
- ・領収書の写し
- ・生年月日を証明するもの
- ・自転車乗車用ヘルメットの安全承認適合がわかるもの(自転車乗車用ヘルメットの現物提示でも可)
- ・納税証明書または村税納付状況を税務職員以外の村職員が調査することに同意する文書
- ・その他村長が必要と認める書類

●問合せ先

開発部建設課

後部座席も必ずシートベルトを着用しましょう

令和3年シートベルト着用状況

区分		着用率	前年対比
一般道	運転席	99.1%	+0.1
	助手席	96.7%	+0.2
	後部座席	42.9%	+2.6
高速道路	運転席	99.6%	-0.1
	助手席	98.9%	+0.4
	後部座席	75.7%	-0.1

シートベルト着用状況全国調査 警察庁/JAF
(令和3年10月~12月実施)

まだまだ低い、シートベルト着用率!!

令和3年に実施された調査によると、愛知県の後部座席同乗者のシートベルト着用率は、一般道42.9%、高速道路75.7%と運転席・助手席に比べてまだまだ着用意識が低い状況にあります。なお、高速道路での後部座席の着用率は、全国調査の着用率と比較して、約3%向上しています。

後部座席でのシートベルト非着用時の死亡率は、着用時の **約3倍!**

シートベルト、正しく着用していますか?

シートベルト安全利用チェック

- シートには深く腰掛けていますか。
- ヘッドレストは頭頂部の高さに合わせていますか。
- 肩ベルトは首やあごにかからず、肩の中央部を通過していますか。
- ベルトがねじれていませんか。
- 腰ベルトは骨盤を巻くようにしていますか。
- バックルはカチッと音がするまで差し込んでいますか。



横断中の交通事故が多発

子どももお年寄りも

手をあげて渡ろう!

ハンド・アップ運動

- 歩行者は、道路を横断するときには手をあげ、ドライバーに横断することをアピールしましょう。
- ドライバーは、手をあげている歩行者を見かけたら、思いやりの気持ちを持って、横断者の手前で止まりましょう。
- ドライバーには、目と目を合わせ、感謝の気持ちを伝えましょう。

